子どもたちの学校はあったの？

Q.Q01

愛楽園で治療薬プロミンが使用されるようになった1949年、園の大人たちは、子どもたちに園外の子どもと同じ教育を受けさせたいと願い、近くの学校の分校を園内に設置するよう要請しました。その願いは実現しませんでしたが、大人たちは子どもたちのために校舎を建て、1951年、沖縄群島政府立の澄井小中学校と若竹幼稚園が開校します。政府から任命された先生が着任し、子どもたちは園外の学校と同等の勉強ができると喜びました。

しかし、毎日、頭から足の先まで白い予防着で身を固めた先生の姿を目の前にして、子どもたちは自然に「自分は恐ろしい病気だ」と思うようになりました。1981年、在校生がいなくなり、澄井小中学校は閉校しました。

学校があった場所には、この学校に通った子どもたちが中心となり建てた碑が残っています。

中学校卒業後はどうしたの？

Q.Q02

療養所の人々の働きかけによって、1955年、岡山県の長島愛生園にハンセン病療養所で暮らす人々のための高校、新良田教室が設立されました。

沖縄の療養所にも高校進学を希望する人はいましたが、米軍統治下にあった沖縄では受験できませんでした。高校進学を希望する人は、パスポートを手に入れ、園から抜け出して予防接種をし、那覇の港に向かいました。園に連れ戻されてしまわないか、船から降ろされてしまうのではないかと、ビクビクしながら船に乗り、「本土」の療養所にたどり着きました。「本土」の療養所に入り直して、初めて高校を受験できたのです。沖縄の療養所から新良田教室への進学が公式に認められたのは1964年からです。

一方、回復した子どもの中には地元の学校に転校し、高校受験をする人もいました。しかし、転校先では愛楽園の小中学校にいたことを隠さねばなりませんでした。高校受験時、愛楽園にいたことを理由に不合格になった人もいます。

どうして卒業証書を焼き捨てたの？

Q.Q03

澄井中学校の生徒たちは卒業式の後、写真撮影をしました。卒業生たちは皆、卒業証書を広げ、並んで写真に写りました。しかし、その後、受け取った証書を海に破り捨てたり、焼き捨てた卒業生たちがいます。

卒業証書を持っていたら、いつか、どこかで、誰かに卒業証書を見られてしまって、自分が澄井中学校卒業生であり、愛楽園にいたことが知られてしまうと卒業生は恐れたのです。澄井小中学校の卒業生にとっても、友人と過ごした時間は大切な思い出です。しかし、その大切な思い出を隠さねばなりませんでした。

証言

平良仁雄さん（1939年久米島生まれ）

私もここの学校の卒業証書をもらっているが、どこを探してもその卒業証書は出てきません。どうして持っていないか。証書の中に澄井小中学校とあるからです。ハンセン病だということが分かるので、その卒業証書を焼いて捨てるか、破って捨てるか、ほとんどの人が持っていないのです。就職をするときの履歴書も嘘の履歴書。地元の小中学校を卒業したといってね。

この詩を書いた人の様子を想像して、声に出して読んでみましょう。

海に
悲しくなったら海を見る
苦しくなったら海を見る
なぜって――
私にはそうするよりほかにない
そうすると苦しみや悲しみは
海の中にとけていく
海はその
青く
ふかく
広い中に
私の苦しみやかなしみを
抱いてくれる

（中学二年生・一九五〇年代）

試験

三時間目は　試験である
一時間　二時間と
三時間目が　迫ってくる
とうとう三時間目の
鐘がなり出した
答案用紙が机の上に
のっかっている
用紙に　書かれた字が　目にしみる
鉛筆の　音が　耳にいたい
こつこつと　くつの音
先生が　机の間を　歩いている
すぐ側に　白い予防着が　見える
机の上には　答案用紙と
筆入れが　あるだけ
用紙に　書かれた字が　まるで
私をみつめているようだ

（中学二年生・一九五〇年代）

子どもの頃のお話を聞いてみよう

金城 幸子さん

1941年、熊本生まれ。久高島や与那国島で育つ。8歳の頃ハンセン病を発病し、9歳のとき愛楽園に入所。

平良 仁雄さん

1939年、久米島生まれ。小学校入学前にハンセン病を発病。9歳のとき久米島の患者とともに船で愛楽園に入所。

ハンセン病問題を知っていますか？

澄井中学校卒業生の作品（2022年）

人権は学校で守られていますか？
昔、ハンセン病という病気にかかった子どもが
学校で先生たちから冷たく扱われ、友達もはなれていきました。
しかし、それから何十年もして回復者の人たちが裁判を起こし、
国や学校にハンセン病の差別をつくった責任があるとされました。
人権学習は、学校の人権侵害の反省からはじまります。

沖縄県
沖縄県人権啓発活動ネットワーク協議会
沖縄県保健医療部地域保健課　TEL:098-866-2215

沖縄愛楽園にはどのような人が暮らしているの？ 0101

沖縄愛楽園はハンセン病の療養所として1938年に設立されました。園で暮らしている人には後遺症を抱えている人もいますが、みな、ハンセン病の回復者です。

なかには、家族から離れて84年間を愛楽園で暮らした人もいます。また、子どもの時に家族から離されて、愛楽園で暮らしている人もいます

現在（2024年1月31日）、91名の人が園で生活し、平均年齢は86.2歳です。1950年代には950名を越える人々が園で暮らしました。

沖縄愛楽園全景。対岸に古宇利島が見える

なぜハンセン病を発病したら家族から離されたの？ 0102

ハンセン病患者を一生、療養所に閉じ込める隔離政策が行われたからです。

ハンセン病は恐ろしい伝染病であるという誤った情報を流して、1931年、亡くなるまで患者を療養所に閉じ込める「癩予防法」が作られました。この法律のために、患者は警察や役場の人に療養所へと連れていかれ、家も真っ白に消毒されました。その様子に、人々はハンセン病を恐ろしい病気だと思うようになりました。

そして、国も県も住民も競ってハンセン病患者を地域から追い出しました。これを無らい県運動といいます。人々は、患者の家族も仲間はずれにし、差別しました。

ハンセン病患者の隔離政策は戦後、治療薬で回復するようになっても続きました。患者や家族の排除は、学校の先生や医療従事者なども推進役になりました。

ハンセン病ってどんな病気？ 0103

ハンセン病は病原性のとても弱い菌による感染症です。栄養・衛生・健康状態などによって発病することがありますが、今の日本で発病することは、ほぼありません。

地上戦のあった沖縄では、戦後、発病する人が増えました。1941年にアメリカで開発された治療薬プロミンは、沖縄でも1949年から使用され、多くの人が回復しました。

発病すると熱い痛いなどの感覚がまひしたり、手足の動きが悪くなることがあり、治療が遅れると後遺症が残ることがあります。

患者の家に検診に向かう警察官と愛楽園園職員

証　言

＊＊＊吉さん（1922年沖縄島北部生まれ）

検診で「愛楽園に行って診察しなさい」と言われて。園に来て検査して、入院しなさいということだったんですよ。

家の中消毒されたんですよ。入所したその日のうちに、園長が保健所に電話したと思うんです。翌日、二～三名の作業人が保健所から私の家に来て、雨靴のまま家の中に入って、座敷も全部消毒したらしいですよ。それが大変だったですね。驚きましたよ。まさかそんなことするとは思わなかったですから。

妻がこういうことだったよと、バスに乗ってね。来ていました。妻はそれから全然面会に来たことないです。那覇に移ってね、向こうで暮らすようになった。

療養所ではどのように暮らしたの？ 0201

愛楽園に入所すると、雑居生活をする寮や患者作業とよばれる仕事が決められました。療養所の職員数は少なく、入所者は自分たちで畑を開墾し、道や建物を作りました。また、体の不自由な人や体調の悪い人のため、夜も昼も介護や看護なども行いました。

これらの作業は治療よりも優先され、感覚を失った手や足にやけどや傷を負ったり、傷を悪化させ、後遺症を重くした人がいます。

また、家族への差別を恐れて、本名とは別の「園名」を使った人がいました。

証　言

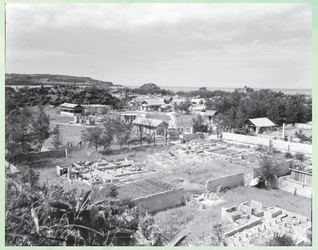
＊＊ハツ子さん(1933年沖縄島中部生まれ)

重病棟や結核病棟があって、青年寮の人が付き添いした。痰片づけたり、夜通し付き添ってね。お湯で手拭い絞って湿布したり、今の看護師がやっていることを全部やっておった。昔はおむつなんてないさ、材料がないんだもん。だから夜通し、しょっちゅう起きないかんわけよ。

乙女寮の人たちはご飯炊いたり、洗面させたりして。食器を上げて下げて、それから全部洗わないといけないさ。で、結核患者の人の食器は全部、お湯を沸かして消毒しないといけないさ。そんなこと三名くらいで朝昼晩、何十名もの人のをしなくちゃいけないから。朝から晩までずっと。もう、ぐったりよ。

沖縄戦のとき愛楽園はどうなったの？ 0202

愛楽園も十・十空襲とその後の激しい爆撃と艦砲射撃を受け、壊滅状態になりました。職員たちは隣集落に疎開するなどしましたが、入所者たちは、逃げることもできず、感覚を失った手足を傷つけながら掘った横穴の防空壕に身を寄せ合いました。入所者は極度な栄養失調になり、傷を悪化させました。また、マラリアや赤痢等も流行り、防空壕の中で約300名の方が命を落としました。亡くなった人は激しい爆撃の合間に埋葬され、戦後、入所者の手で火葬されました。そのお骨は園内の納骨堂に納められています。


空襲で破壊された愛楽園（1945年）

1995年、沖縄県は「平和の礎」を建設し、沖縄戦などで亡くなった人の名前を刻みました。国籍、軍人・民間人の別を問わず、申請された全ての人の刻名は戦没者一人一人の生きた証です。しかし、療養所で亡くなった人の刻名申請はわずかで、愛楽園の戦没者の刻銘が始まったのは2004年からです。

回復者たちが自分たちの手で取り戻した「人間復活」ってなんだろう？？ 0203

1996年、「らい予防法」は廃止されました。しかし、国の隔離政策が患者や回復者から自由を奪い、家族や友人を奪い、教育や仕事を奪い、隔離政策のために患者や回復者が安心して穏やかに暮せなかったことについての謝罪はありませんでした。

回復者たちはこれまでの国の責任を明らかにするため裁判所に訴えました。2001年に出された判決では、「らい予防法」が憲法に違反する法律であり、隔離政策を行った国の過ちが認められました。沖縄県知事も愛楽園と宮古南静園を訪れ、県が無らい県運動を進めて患者を隔離し、被害を与えてきたことを謝罪しました。

患者家族も「らい予防法」の深刻な被害を受けてきたことを訴え、2019年、この訴えは認められました。改正された「ハンセン病問題基本法」では、回復者や家族に対する偏見や差別をなくすために、国や地方自治体は取り組まなければならないと定めています。回復者や家族への偏見差別は現在も続いています。

証　言

阿波根ハルさん（1924年沖縄島中部生まれ）

裁判に参加して勝ったときはすごいうれしかったな。人間復活だったよ。今までの惨めさが吹っ飛んでしまったような。おとうもおかあも生きていたらどんなに喜んだか。予防法も廃止になって、別にうつる病気でもないって言われて、おとうおかあが生きているときに聞かせたかったって、いまだに思うわけよ。あんなに親に苦労かけてね。病気になって親を哀れさせたって思って。兄弟にそんな話して泣いたけどよ。

子どもたちはどのように暮らしていたの？ 0301

愛楽園にはハンセン病を発病して、家族から離され、連れてこられた子どもたちがいました。多いときには80名ほどの子どもがいたということです。

子どもたちは少年少女舎で暮らし、入所者が務める寮父母が、子どもたちの生活をみましたが、年少者には一人ひとりお兄さんお姉さん役の中学生がつきました。中学生たちは任された子どもの身だしなみを整え、勉強をさせ、朝起きてから寝るまで責任を持たされました。この中学生自身も、親元から離されて暮らす隔離された子どもでした。

復元された面会室

家族と会うことはできたの？ 0302

愛楽園のある屋我地島と沖縄島の間に橋がない時代もありました。少年少女舎には家族が面会に来る子どもも、誰も面会に来ない子どももいました。特に離島で暮らす家族が愛楽園まで来るのは簡単なことではありませんでした。

面会室の中は壁で二つに仕切られていました。離島出身の少年は、4年ぶりに父に会った初めての面会を、心の底から嬉しかったといいます。しかし、面会室の真ん中を仕切る壁に開けられた小さな窓越しに父と会う面会は、「自分が隔離されている身だということを実感するひとときだった」ともいいます。

何年も家族の面会がない子どもは「捨てられた」との思いも持ちました。

証　言

平良仁雄さん（1939年久米島生まれ）

面会だと呼ばれて、小さな面会室に走っていくと、面会室を真ん中で仕切る板壁に開けられた小さなすきまから、予防着の白衣を着せられて固く座っている父親が見えた。

家にいたとき、私と毎夕食、高膳を並べて一緒に食事をし、毎朝体中を手で触りながら斑紋の確認をしてくれた父親は身動きせず、後ろには職員が立っていた。家では私の体の頭のてっぺんから足の先まで触っていた父親なのに、私を抱き寄せることも、体を触ることもしなかった。

親が入所した子どもはどうしたの？ 0303

親が愛楽園に入所した後、残された子どもは友人たちが離れていきました。また、学校や地域でも患者の子どもであることを理由に、酷いいじめを受けた人が少なくありません。中には親せきをたらい回しにされた人もいます。

また、園内には入所した親と離れされた子どもが暮らす児童保育所がありました。園内はコンクリートの塀で患者地帯と職員地帯に分けられ、児童保育所は職員地帯にありました。

児童保育所の子どもたちは、親が暮らす患者地帯に入ることを禁止され、親と会えるのは週に一度、日曜日だけでした。この面会は保母立ち会いの下、職員地帯と患者地帯とを隔てるコンクリート塀に作られた「門」を挟んで行われました。面会の様子を「いつも10メートルくらいも遠くに離れてお母さんと面会することを、私は一番さびしく思っておりました」と作文に書いた子どももいました。

児童保育所の子どもたちは屋我地島島内の公立の小中学校に通い、卒業後は園を離れていきました。この児童保育所は1962年、一般の養護施設に統合され、閉所しました。